

まちづくり通信

- 山鹿協同隊会報 - No.6

号数 No.6 発行日:1999.2.3
編集発行 山鹿協同隊
(中心市街地活性化基本計画
策定ワーキンググループ)
連絡先 山鹿市役所商工観光課
TEL 0968-43-1111(内線161)
FAX 0968-43-8795
E-mail:yamaga@yamaga.org

現在、6つの分隊(分科会)に分かれて、中心市街地活性化についての検討会議を続けております。各隊で検討中の施策をご紹介します。皆さんもご意見が有りましたら、是非、隊に参加して発言頂きたいと思っております。

温泉へ行こう!

山鹿温泉のイメージづくり

山鹿温泉イメージの情報発信

桜湯の再整備

- ・温泉プラザの充実、改装、撤去
- ・昔の桜湯の復活
- ・観光客対応で国道325号沿いに昔の桜湯を復活
- ・桜湯をプラザ5から独立した建物として再整備
- ・プールをなくして、多目的ホールに
- ・市民会館を含めた再開発(温泉、サウナ、休憩所、スポーツ施設、多目的ホール)

日本一の温泉のPR戦略づくり

山鹿温泉の物語づくり

- ・女性が美しくなる

毎月26日を「風呂の日」としてPR

温泉、家族湯PR誌の発行

温泉PRのCMを出す

山鹿温泉のブランドイメージを確立する物産品づくり

- ・温泉たまご
- ・湯ノ花などの入浴剤

各地の温泉とのネットワーク化

(情報交換、コミュニケーション)

桜湯の運営の充実

- ・組織・料金・イベント等

お湯を使ったイベントの充実

- ・入浴時間を競う
- ・利き湯コンテスト
- ・温泉スタンプラリー



気軽に入浴できるシステムづくり

- ・温泉マップづくり

観光客・市民両面での温泉施設の充実

誰でも乗れるシャトルバスの運行で旅館などを含めたまち中の交通の便を良くする

八千代座の駐車場を作り、まちを歩いてもらう
楽しい豊前街道にする

ため、九日町を歩行者天国にする
細街路の整備

日吉町、西上町を夜安心して歩けるまちに
大型駐車場とバスターミナルの確保
観光客のための旅館や家族湯など

における温泉施設の充実

- ・若い女性に魅力のある温泉
- ・子ども連れで楽しめる温泉
- ・小動物(ペット)の専用風呂
- ・酒樽風呂(桧風呂)
- ・湯治客が長期滞在できる設備
- 暮らしに根付いた温泉の活用
- ・コミュニティ施設
- 公共温泉を利用できる住宅づくり

(特に高齢者用)

温泉を活用した高齢者への思いやりの充実
高齢社会を見据えた施設・設備の充実

- ・高齢者にやさしい設備

(手すり、段差解消など)

・家族湯の1~2室を高齢者対応に
温泉資料館、温泉センターの建設
市民(特に高齢者)のための温泉施設の充実
若者をターゲットとしたスポーツジム施設
道の駅と公衆浴場を組み合わせた温泉施設
山鹿の祭り(温泉祭、灯籠祭)と温泉を味わえる温泉施設

温泉周遊券の発行(温泉手形)

温泉の格安チケットをコンビニで販売

飲む温泉水(容器)の販売

成分メニューのPR

温泉に学校単位で行く行事づくり



- 人にPRできるように
市民が努めて温泉に入る
サイン、案内板の充実
- ・温泉街のサイン（案内）
 - ・看板に温泉マークを入れて、場所を明確化

温泉町・温泉街の雰囲気づくり

- 小路を残す（整備）
温泉水を計画的に流すことで
イメージを定着させる
まちのいたる所で湯煙りの出る
仕掛け・工夫

- 西側新市街地
- ・セットバックによる歩行者空間の拡充や緑化
 - ・都心商業地及び温泉地としての情緒と回遊性の確保

都市計画道路・宗方駅通り線沿いでの温泉観光ゾーンの形成

- ・菊池川の河川空間等を活かした温泉観光ゾーン
 - ・歴史的酒蔵、街並みを拠点に歴史文化的な生活の雰囲気のある通り
- 街灯を増やして、明るい温泉街にする
菊池川に桜並木を植え、温泉旅館街
としてアピール

西側新市街地

- ・良好な都市基盤整備状況を活かした商業地としての土地利用促進
- 都市計画道路・宗方駅通り沿い
旅館を中心とした山鹿らしい
浴衣のデザイン開発
浴衣姿の客の割引サービス（温泉+飲食店）
- ・既存の観光施設を活かした温泉観光ゾーンの形

八千代座から発信しよう！

八千代座をフルに活用するために

- 周辺駐車場及び案内板の整備
八千代座前広場の設置
八千代座の市民の文化拠点としての活用
八千代座の運営組織づくり
- ・トータルコーディネート組織
 - ・365日対応の運営組織
 - ・サーポーター的組織
 - ・興業者と区別した管理運営組織
- の財団法人化
（利益を地域に還元）
- 八千代座のソフトメニューづくり
- ・運営マニュアル
 - ・イベント
 - ・食事サービスの提供
 - ・建物見学への対応
（舞台機構などの建物の魅力を紹介する）
 - ・市民が広く使えるようにする
（わがまちの誇り意識の醸成）
- 多方面での活用によるPR戦略

八千代座を中心に楽しめるまちづくり

八千代座を中心とした周辺地区の整備による観光拠点ゾーンの形成

- ・観光バス、一般両方の駐車場の整備
 - ・オープンスペースの整備
- 八千代座へ来る客の商店街としての対応



八千代座のあゆみを伝える資料館の整備

- ・豊前街道沿いの蔵や屋敷の活用
 - ・公演風景のモニター設備
 - ・山鹿市民へのアピールが重要
- 資料館運営のボランティア育成
豊前街道と八千代座の一体的雰囲気づくり
- ・街並み条例などの活用

八千代座と連携した千代の園・天聴の活用

商業機能と連携した

千代の園周辺の拠点整備

- ・回遊動線の確保

楽しんで味わうことのできる

試飲場のある通り

千代の園の活用

天聴の蔵の活



「山鹿協同隊」とは

山鹿を発火点として、西南の役に参加した熊本協同隊は、自由民権運動の先駆けであり、その志にならい、山鹿の街はみずから作り上げるという思いを込めて「協同隊」を冠し、「山鹿協同隊」としました。